

専門科目：マクロ・ミクロ経済学

受験番号

ME

以下の A 群, B 群両方の問題に解答しなさい。

[A 群] 設問 1 あるいは設問 2 のいずれか 1 問を選んで解答しなさい。

1. IS-LM モデルを前提として、以下の各設問に答えなさい。

(a) 財市場および貨幣市場が以下のように表されるとするとき、均衡 GDP を求めなさい。

財市場：

$$Y = C + I + G, \quad C = 4 + 0.9Y, \quad I = 64 - 8r, \quad G = 12$$

貨幣市場：

$$\frac{M}{P} = 236, \quad L = 0.1Y + 300 - 10r$$

ここで、 Y は国民所得、 C は消費、 I は投資、 G は政府支出、 r は利子率、 M は貨幣供給量、 P は物価水準を表している。

(b) (a) の状況で実質貨幣供給量が 236 から 272 に増加した場合、均衡 GDP はどの程度変化するか。

(c) (a) で消費関数が $C = 4 + 0.6Y$ に変化したとする。その他の状況に変化はないとして、均衡 GDP を求めなさい。

(d) (c) の状況で実質貨幣供給量が 236 から 272 に増加した場合、均衡 GDP はどの程度変化するか。

(e) (b) と (d) の政策の効果の違いは、どのような経済状況の違いによってもたらされたと考えられるか。説明しなさい。

2. 貨幣需要を構成すると考えられている「取引需要」及び「資産需要」のそれぞれについて、背景にある動機とその変動の特徴について説明しなさい。

[B 群] 設問 1 あるいは設問 2 のいずれか 1 問を選んで解答しなさい。

1. X 財の消費量を x 、 Y 財の消費量を y としたとき、 X 財と Y 財に対する効用関数は

$$u = x^3 y^2$$

で表されるとする。 Y 財の価格が 2、所得を 30 として、以下の設問にすべて答えなさい。

(a) X 財の価格が 3 であるときの予算集合を図で表しなさい。

(b) (a) の状況における X 財と Y 財の最適消費量を求めなさい。

(c) (a) の状況から X 財の価格のみ変化し、3 から 6 になった。このときの所得効果と代替効果をそれぞれ求めなさい。

2. A と B の 2 人の漁師が 1 日あたり限界費用 10 の灯台を建設することを検討している。灯台稼働 x 日に対する限界評価は A と B ともに

$$25 - x$$

で表されるとする。以下の設問にすべて答えなさい。

(a) 灯台が A と B にとって公共財であることを説明しなさい。

(b) 灯台の最適稼働日数と、各人の費用負担額を求めなさい。

(c) フリーライダー問題とは何かを説明しなさい。